

I 総務課

- 1 理事会、評議員会の開催
 - (1) 理事会の開催（5回／年）・評議員会の開催（2回／年）
- 2 監査の実施
 - (1) 社協監事による監査（1回／年）

II 地域支援の重点事業の成果及び実績

- 1 地域住民の参加と協力による地域福祉活動の推進
 - (1) ふれあい地区社会福祉協議会
 - ①役員会の開催（4回／年）・代表者会の開催（2回／年）
 - ②ふれあい地区社協校区別研修会の開催（4回／年・延207人）
 - ③ふれあい地区社協合同研修会開催（1回／年・185人）
 - (2) ボランティアセンター事業の推進
 - ア ボランティア活動育成事業
 - (ア) ボランティア協力校指定事業 町内小学校4校 中学校2校
 - (イ) ボランティア団体活動支援金の助成 3団体
 - (ウ) クリーンウォークの実施（1回／年・85人）
 - (エ) メイクアップボランティア活動実績
 - a メイクアップ教室（12地区13回／年・延142人）
 - イ 総合学習
 - ①腹赤小学校 車いす体験・高齢者疑似体験（31人）
 - ②長洲小学校 車いす体験・高齢者疑似体験（25人）
 - ③長洲小学校 車いす体験・高齢者疑似体験（26人）
 - ④六栄小学校 車いす体験（38人）
 - ⑤長洲中学校 車いす体験（42人）
 - (3) 児童・青少年福祉活動
 - ア 新小学一年生への援助（135人）
 - イ 子どもデイサービス事業（小学生22人 学生ボランティア12人）
 - (4) 各団体への支援活動
 - ①身体障がい者福祉協議会
 - ②ひまわりの里
 - ③老人クラブ連合会
- 2 福祉サービス相談窓口としての機能の充実
 - (1) 心配ごと相談所（12回／年・33件）
 - (2) 生活福祉資金貸付・小口貸付
 - ①生活福祉資金貸付事業（相談件数13件）
 - ②福祉金庫貸付事業（相談件数10件）
- 3 地域福祉権利擁護事業（実利用13人、利用回数966回）
- 4 安心よりそい生活支援（実利用8人、利用回数555回）
- 5 赤十字講習会（1回／年・36人）
- 6 受託事業
 - (1) 安心生活基盤構築事業
 - ア 協力会員交流研修会（1回／年・32人）
 - イ 利用実績報告（延利用件数868件）
 - ウ 地域説明会（5地区5回／年）
 - エ 新規登録者（協力会員2人、利用会員8人）
 - (2) 生活困窮者総合相談支援事業（継続支援件数18件、新規相談件数19件）
 - (3) 緊急対応生活支援事業（支援件数8件）
- 7 子育て支援・児童健全育成事業の推進
 - (1) 子育て支援センター事業
 - （開館日：274日、総数：幼児3,840人、大人2,857人）
 - ※令和2年3月2日～3月31日までは新型コロナウイルス感染拡散防止のために休館
 - ①にこにこサロン（毎月第1木曜日・延子ども240人、大人190人）
 - ②はいはい・よちよち大会（2回／年・延子ども44人、大人45人）
 - ③人形劇鑑賞会（1回／年・子ども31人、大人25人）
 - ④コンサート
 - （世代間交流事業：1回／年・子ども28人、大人44人）
 - ⑤ベビーマッサージ（4回／年・延子ども44人、大人44人）
 - ⑥親子ヨガ（4回／年・延子ども59人、大人49人）
 - ⑦リトミック（3回／年・延子ども48人、大人38人）
 - ⑧1歳の誕生会（毎月・延子ども99人、大人86人）
 - ⑨ごきげんタイム（毎週火曜日・延子ども465人、大人371人）
 - ⑩イザベラ先生の英語教室（16回／年・延子ども113人、大人90人）
 - (2) ファミリーサポート事業

- (3) 児童館事業
 - ①児童館まつり開催（244人）
 - ②児童館クラブ（10回／年・会員数31人）
 - ③ビデオシアター（毎月1回・延児童・幼児81人、学生1人、大人31人）
 - ④レッププレイ（3回／年・延児童41人）
 - ⑤カルチャー教室（2回／年・延児童28人）
 - ⑥人形劇鑑賞会（1回／年・児童25人）
 - ⑦コンサート（1回／年・児童12人）
 - ⑧新春書初め大会（1回／年・児童33人）
 - ⑨出前講座（町内小学校 学童4ヶ所）

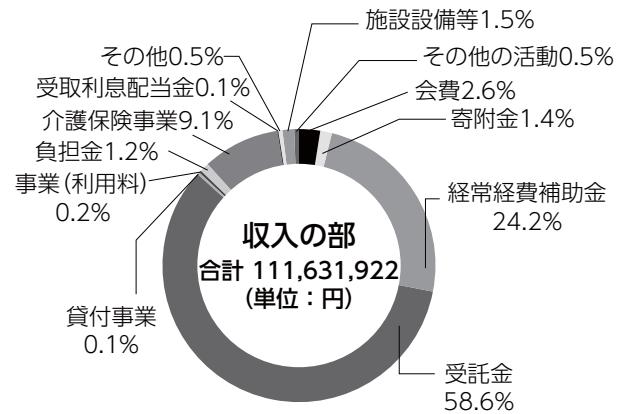
III 地域包括支援課

- 1 包括的支援事業（地域包括支援センター）
 - (1) 介護予防ケアマネジメント業務
 - (2) 総合相談支援業務（相談対応3,420件）
 - (3) 権利擁護業務
 - ①高齢者虐待に関すること（相談件数71件）
 - ②権利擁護・成年後見に関すること（相談件数115件）
 - ③消費者被害に関すること（相談件数20件）
 - ④高齢者虐待に関する対応・会議（相談件数8件）
 - ⑤権利擁護・成年後見に関する取り組み（1回／年・57人）
 - (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務（支援件数132件）
 - ア 介護支援専門員研修会（30人）
 - イ 多職種連携研修会（91人）
 - (5) 認知症総合施策事業
 - ア 認知症サポーター養成講座の開催（5回／年・延184人）
 - イ 認知症カフェの開催の支援（4事業所）
 - ウ 認知症の方に対する声かけ・搜索模擬訓練の開催（延58人）
 - エ 認知症初期集中支援チーム（新規相談件数5件、訪問回数43回）
 - オ 認知症家族の会「つどい」への参加（3回／年）
 - (6) 地域ケア会議の開催
 - ア 自立支援型地域ケア会議の開催（11回）
 - イ 個別課題の地域ケア会議の開催（1回）
 - ウ 自立支援型地域ケア会議に関する研修会の開催（1回）
 - (7) 長洲町介護サービス事業者連絡協議会の事務局
 - ア 研修会等（5回）
 - イ 役員会（2回）
- 2 指定介護予防事業
 - ア 計画書作成（包括1,014件、委託236件）
- 3 生活支援体制整備事業
 - (1) 介護予防リーダー養成事業
 - ア 元気あっぱリーダー養成講座（2回／年・延29人）
 - イ 元気あっぱリーダーのフォローアップについて（4回／年・延123人）
 - ウ 元気あっぱ体操教室活動状況（開催回数463回、延参加者4,632人）
 - (2) 協議体の設置について
 - ア 長洲町協議体の開催（1回／年）
 - (3) 介護予防事業評価（7回／年・延116人）
 - (4) 一般高齢者予防事業
 - ア 一般高齢者への介護予防教室の開催（188教室／年・延1,436人）
 - イ 認知症カフェ「にじいろカフェ」の開催（5回／年・延131人）
- 4 介護予防ケアマネジメント事業
 - ア ケアプラン作成（包括938件、委託56件）
- 5 通所型サービスA事業
 - (1) 具体的な提供プログラム
 - ア 運動機能向上プログラムの導入
 - イ 健康教室
 - ウ 認知症予防プログラム評価
 - エ 個別プログラムの実施
 - オ セルフケア確認による健康意識の向上プログラムの実施
 - カ 地域との交流活動の実施
 - キ 通所型サービスA事業先進地視察研修
 - (2) 利用状況
 - 年・実利用者：788人
 - 延利用者：3,053人

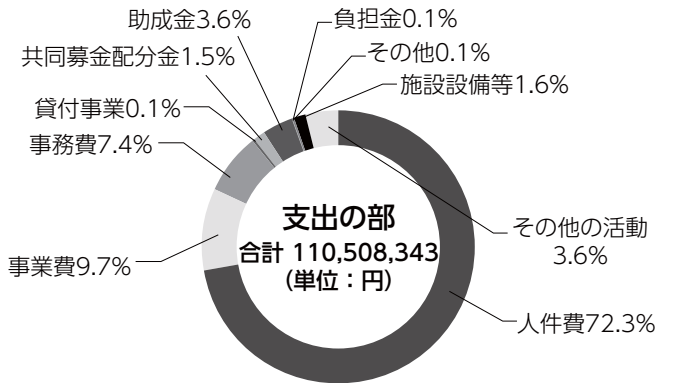
令和元年度
長洲町社会福祉協議会事業報告・決算報告

資金収支決算報告書

【収入の部】 (単位：円)	
勘定科目	決算額
会費	2,873,000
寄附金	1,601,000
経常経費補助金	27,067,451
受託金	65,459,600
貸付事業	135,000
事業（利用料）	266,400
負担金	1,338,000
介護保険事業	10,194,480
受取利息配当金	5,688
その他	525,283
施設設備等	1,661,700
その他の活動	504,320
収入計	111,631,922



【支出の部】 (単位：円)	
勘定科目	決算額
人件費	79,848,524
事業費	10,756,213
事務費	8,127,525
貸付事業	135,000
共同募金配分金	1,697,551
助成金	4,000,440
負担金	74,000
その他	77,330
施設設備等	1,782,000
その他の活動	4,009,760
支出計	110,508,343
当期資金収支差額合計	1,123,579
前期末支払資金残高	45,906,670
当期末支払資金残高	47,030,249



社協の決算書は、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表の3種類の計算書に加え、付属明細書と財産目録で作成されています。今回、掲載する資金収支計算書は、「お金が増えたかどうか？」などの資金の増減を表す計算書です。この計算書からは、「予算どおり資金運用できたか？」などを確認できます。

貸借対照表(令和2年3月31日現在) (単位：円)

資産の部		負債・純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	54,966,564	流動負債	7,936,315
普通預金	51,054,628	事業未払金	7,037,425
事業未収金	3,818,444	預り金	48,306
立替金	53,310	職員預り金	850,584
前払金	29,822	引当金	0
仮払金	10,360	固定負債	41,692,870
固定資産	104,167,393	負債の部 合計	49,629,185
基本財産	1,000,000	基本金	1,000,000
その他の固定資産	103,167,393	基金	52,836,100
		国庫補助金等特別積立金	1,272,000
		その他の積立金	7,000,000
		次期繰越活動増減差額	47,396,672
		純資産の部 合計	109,504,772
資産の部 合計	159,133,957	負債・純資産の部 合計	159,133,957

令和2年度 社会福祉法人長洲町社会福祉協議会事業計画

基本理念 「誰もが福祉活動に参加し・皆で支え合い・ふれあい学びあう地域」

基本方針

総務課：助け合いのある地域づくりに向けて、住民同士の助け合い活動を支援するとともに、住民の福祉活動との協働を推進し、地域における総合的な相談・生活支援体制の構築をめざします。

地域包括支援課：高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、保健医療の向上及び福祉の増進を支援していきます。また、総合的な支援体制の実現と介護予防・生活支援・社会参加を一体的とする仕組みづくりに努めます。

セクションごとの重点事業

■総務課

- 1) 法人運営事業（理事会・評議員会の開催）
- 2) 地域福祉活動の拡充（ふれあい地区社協、有償ボランティア等）
- 3) 総合相談支援事業の実施（生活困窮者総合相談支援事業等）
- 4) ボランティアセンター事業（センターの運営、活動の啓発等）
- 5) 広報活動（ホームページの活用、社協だよりの掲載）
- 6) 子育て支援・児童健全育成事業の推進（町受託事業）
（子育て支援拠点の整備、世代間交流の開催等）

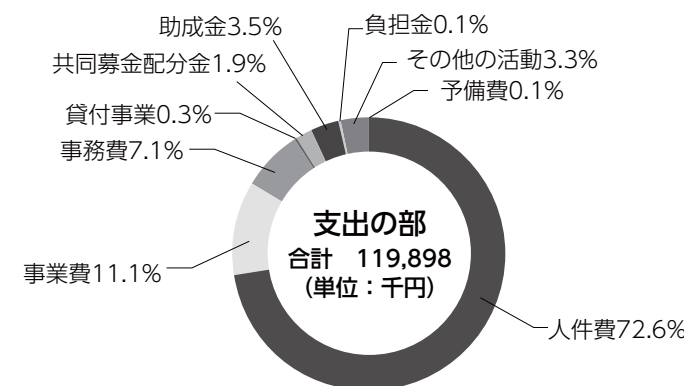
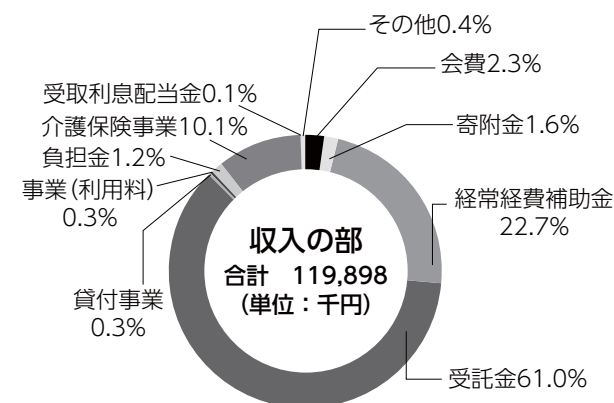
■地域包括支援課

- 1) 地域包括支援係
（介護予防ケアマネジメント、総合相談・支援、介護予防支援等）
- 2) 通所型サービス A 事業
- 3) 生活支援体制整備事業
（元気あっぷリーダーの養成・支援、地域住民との座談会等）
- 4) 一般高齢者事業
（各種教室の開催、介護予防拠点等への拡充等）

資金収支計算書

【収入の部】 (単位：千円)	
勘定科目	決算額
会費	2,815
寄附金	1,910
経常経費補助金	27,220
受託金	73,179
貸付事業	300
事業（利用料）	380
負担金	1,463
介護保険事業	12,045
受取利息配当金	126
その他	460
施設設備等	0
その他の活動	0
収入計	119,898

【支出の部】 (単位：千円)	
勘定科目	決算額
人件費	87,051
事業費	13,349
事務費	8,564
貸付事業	300
共同募金配分金	2,220
助成金	4,255
負担金	49
施設設備等	0
その他の活動	3,986
予備費	124
支出計	119,898
当期資金収支差額合計	0
前期末支払資金残高	45,907
当期末支払資金残高	45,907



心配ごと相談開催

「どこに相談していいかわからない」「こんなことで相談に行っているの？」と悩まずにお気軽におたずねください。

弁護士が相談に応じます。

相談料は無料で、個人の秘密は固く守られます。

- 日 時 7月21日㊥、8月18日㊥
- 場 所 ふれあいセンター／相談室
- 定 員 各月4人（予約が必要です）
- 相談時間 1人30分（午前10時から正午まで）

㊥・㊦ 町社会福祉協議会 ☎78-1440

社協会員加入のお願い

町社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体です。誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めるため、各種事業の展開や仕組みづくりに取り組んでいます。

この運動は、事業を進める上での貴重な財源となりますので、今年度も皆様からのご理解をいただき会員加入のご協力をお願い申し上げます。

運動期間 7月1日から7月31日

会 費	一般会員会費	500円
	賛助会員会費	1,000円より
	特別会員会費	10,000円より

見守り会議が開催されました



5月28日（木）、研修センターにて上町区見守り会議が開催されました。上町区の役員、担当民生委員、社協職員が一堂に会し、新型コロナウイルス対策の影響で活動の自粛が続いたことから、現状を把握するため地域の課題について話し合いを行いました。

会議をととして情報を共有し、今後の地域活動につなげていければと思います。

次の方々より、香典返しの意味でご寄付をいただき厚くお礼申し上げます。故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。ご寄付いただきました浄財は地域福祉の向上に、大切に活用させていただきます。

【敬称略受付順】

◆受付
4月1日～5月31日
町社会福祉協議会
(☎78-1440)

行政区	寄付者名	物故者名
塩 屋	浦川 義秀	浦川 誠子
福 岡 県	酒井 誠一	酒井八重子
新 町	平木 満雄	平木 和子
清 源 寺	菊本 克也	菊本 則夫
鷺 巣	西野きよ子	西野 文人
清 源 寺	西島 正則	西島 久美
清 源 寺	荒尾 勝治	荒尾ハルナ
塩 屋	中村 康子	中村 敏人
熊 本 市	中園 幸子	吉村 禮子
建 浜	濱田 鉄夫	濱田トミ子
清 源 寺	荒尾 雅治	荒尾 勝治

「新型コロナウイルスに負けない 身体づくり」に取り組んでいます！



新型コロナウイルス対策のために約2か月間休館していた「げんきの館」も、5月11日より通常利用となりました。再開を機に体力測定を実施したところ、若干の体力低下がみられ、改めて社会生活を維持する上での必要性和重要性をみんなで認識したところです。

今は、さらなる元気な身体づくりのプログラムに励んでいます。